

FD委員会活動報告

新潟大学歯学部FD委員会 委員長
秋葉陽介



・ご挨拶

平成27年度より新潟大学歯学部FD委員会委員長を拝命しております、生体歯科補綴学分野の秋葉陽介と申します。歯学部ニュースをお読みになっている先生方には、平素、FDの開催、運営にご協力いただきありがとうございます。FDに参加頂いている先生方の中には「とにかく出席しなければいけない」「夕方の忙しい時に1時間程時間を取られる」「何か色々なテーマで講演している」「アンケートが面倒」、こんなイメージを持たれている先生方もいらっしゃるかもしれません。折角先生方の貴重な時間をいただき、参加いただいておりますので、今回の活動報告を読んで、もう少しFDについて知っていただき、FDへの参加時間を有意義な時間にしていただければ、と考えております。もちろん、FD委員会の活動やFDについて知っていただくには、検索サイトに「新潟大学歯学部」「FD委員会」と入力いただき「新潟大学歯学部FD委員会HP」(<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/FD/index.html>)を見ていただくのが最もわかりやすいと思います。

・新潟大学歯学部の“FD”とは

FDはFaculty development (ファカルティ・ディベロプメント) の略であり、Facultyは大学の全教職員を、Developmentは能力開発を意味しており、日本語では一般的に「大学教員の教育能力を高めるための実践的方法」のことを指すとされています。先ほど紹介した新潟大学歯学部FD委員会のHPではFDの目的を「教員の教育能力を高めるとともに、常に最適な教育環境を実現するために必要な情報を提供することであり、同

時に教員自身の歯科医師、あるいは研究者としての能力を高めること」としております。つまり、新潟大学歯学部におけるFDは学部学生に対する教育にとどまらず、大学院教育や研究活動、歯科臨床教育や臨床能力の向上など、歯学部在籍する先生方の活動すべてに対し、その能力を高める事を目的として開催されているということです。また、FDの対象も教員にとどまらず、将来的な教員候補として、また研究能力向上を目指して、大学院生の先生にも参加をお願いしております。企画内容によっては診療スタッフも対象とする場合があります。Staff Development (SD)、Academic Development (AD) と考えていただいても良いかと思えます。時折、教員以外の先生にFDへの参加をお願いしているのは、こんな理由からなのです。

・FD委員会の活動

FD委員の活動として、最も皆さんの目に付きやすいのはFD講演会の運営に関わるアナウンス、出欠確認、アンケート、写真撮影などかと思えます。しかし、FD委員会の最も重要な仕事は、その前段階、FDの承認もしくは企画立案です。FDの承認に関して、一度、FD委員会で承認され、FDとして開催されることになった企画には、対象となる歯学部教職員全員の出席が求められます。そのため、FD委員会は申請された企画に対し、その企画が基本的に歯学部の全教職員を対象とした企画であるか、全職員の教育、研究活動においてその能力向上に対して有意義であるか、FDとして開催する必要はあるか、といったことについて議論し、FD開催の是非を決定します。

FDの企画立案に関しては、大学や教育、またそれを取り巻く環境の中で、教職員がどのようなことを知っておくべきなのか、何が必要なかを議論し、新企画立案を行っています。FD委員会によって承認された企画は通常の特別講義、説明会を超えて、教職員及び大学院生の日々の活動に資する必須の情報や知識、技術の提供の場でありたいと考えております。TBLなど新しい教育方略の紹介、PROG TESTやACCEPT projectなど学部学生教育に導入されるシステムの紹介や体験、特色ある学部学生への教育内容の紹介、科研申請のための注意点解説、大学改革や歯学教育の現状の紹介など、一見脈絡なく、色々な講義やワークショップを行っているように思われるかもしれませんが、いずれの企画においても、教職員に必須の情報を含んでいるようにしております。FDの質の担保も重要なFD委員会の活動です。参加いただいている先生方にそれが伝わるようなFDを開催できているか、それをうまく参加者に伝えられているか、というのは重要な問題でありFD委員会の課題であると考えております。

・新潟大学歯学部FD委員会沿革

新潟大学歯学部FD委員会は魚島勝美教授を初代委員長として、平成14年度に設立されました。当時の委員の先生方は自らワークショップに参加し、FDを学び、その後タスクフォースとなって歯学部の全教員に対して1年がかりでカリキュラムプランニングに関するワークショップを行いました。現在も数年に一度、新任教員の先生方にお集まりいただき、FD委員会主催のカリキュラムプランニングワークショップを受講いただいております。その他にも多くの企画を運営したFD委員会の活発な活動は、初代委員会から、齊藤功教授、井上誠教授を委員長とするFD委員会へと受け継がれていきました。年に6～8回の講演会、もしくはワークショップを企画運営し、歯学部の教職員、大学院生に有益な情報を発信し続けました。現体制の新潟大学FD委員会は平成27年度より前田健康歯学部長を顧問に、オブザーバーとして井上誠先生、小野和宏先生をお迎えし、FD委員として寺尾豊先生、佐伯万騎男先生、多部田康

一先生、吉羽永子先生、新美奏恵先生、伊藤晴江先生、池真樹子先生、諏訪間加奈先生、真柄仁先生、藤原茂弘先生にお勤めいただいております。FD委員会は委員長の招請に同意していただいた有志で構成されており、オブザーバー、委員の先生方は通常業務に加えてFD委員として歯学部教員の資質向上のための力を尽くしていただいております。

自分は委員長を拝命しておりますが、多くの先生方よりご指導ご鞭撻を受けFDについて、教育について勉強中の身でもあります。多くの先生方がそうであるように、「歯科医師」になるべく教育を受けてきた自分たちは「教育」に関わる教育を受けておらず、そのために、自分の受けた方法で、必要の中で学び、実践してきた方法を用いて、自分自身の姿を見せてといったやり方で、学部学生、大学院生等、後進の指導を行っていかなければいけません。しかし、歯科や新潟大学歯学部を取り巻く環境は変化し、社会から歯科医師が、また本学卒業生が求められるものも変化しております。それに伴い教職員が求められる知識や技術も増え、多様化しております。日々の業務の中でこれら全ての情報に触れ、収集し、身に付けていく事は簡単ではありません。FD委員会はそんな先生方への情報提供、技術提供を目指して活動しております。

・最後に

ここまでお読みいただきFDやFD委員会に関してご理解いただけたでしょうか？これからも色々なFD企画が準備してあります。参加いただく先生方にお願ひがあります。毎回FDの後に先生方にお願ひしているアンケートには忌憚ない意見を記載いただき、可能であれば一言でも構いませんので自由記載欄にご意見をいただきたいのです。アンケートに記載されたご意見を基に委員会で企画を推敲することで、今まで以上に教職員のニーズに合致し、無駄が無く、有益な企画の開催が可能になるかと考えております。先生方には今後ともFDの開催、運営にご協力の程よろしくお願ひし、活動報告とさせていただきます。